



中尾賞

博厚(東京) 瓶「笛吹川・晩秋(1)」(日本画)

日頃大変お世話になっております。このたびは「笛吹川・晩秋」F100号「中尾賞」を受賞することができました。

昨年秋、山梨県石和駅から車で10分の笛吹橋を訪れました。山に囲まれた甲府盆地の風景が広がっていました。

さっそく制作にかかり、F100号縦2枚、横1枚、F50号横一枚、F8号1枚そのうちの2枚を出品しました。

夕暮れの中に静かに光る大河の流れとうねりを何とか表現したいということでした。水面の表現、うねりの形、河川敷の風景、いろいろ試みましたが、思い通りとはいきませんでした。思い通りのものは表現できず、今後ともご指導宜しくお願いいたします。



新人賞

大塚 莞守(埼玉) 「木渡れ日」(水彩)

此度は新人賞を頂き有り難うございます。約五年前にフルタイムの仕事卒業してから絵筆を持ち始めた遅すぎるスタートの為、新人を冠した賞に白髪頭になってから縁が有るとは思いませんでした。

受賞作の神社は参加している絵画教室の写生会で描いた小品を私にとつては大きな五十号で再構成したものです。

不慣れな大画面の制作で小品では気にならなかつた建築細部を表現する為対象を見つめる中で伝統様式と建築に創意工夫を盛り込んだ宮大工棟梁の技術に敬意を感じました。

スケッチの最初に感じた神社境内の静け

さと木漏れ日を受けた神社の様式美の素晴らしさを少しでも表現できればと思いましたが、どの程度表現出来たか解りませんが評価して頂き感謝しております。今後はこの受賞を励みにして頑張りたいと思います。有り難うございました。

工芸の部



東京都議会議長賞

山崎 昌子(東京) 「豊潤」(皮工芸)

この度は、思いもかけぬ大きな賞を戴きました。ありがとうございます。本当に信じられない気持ちです。

今回、取り組むにあたって豊かな女性の人物像が頭の中に浮かびました。作品が完成する前に「豊潤」というタイトルはどうだろう...その思いが強くなり、ではそれを革でどのように描いたら良いか?そこから始まりました。

色と革への打ち込みは予定通りに進んでいたのですが形にするのが思った以上に大変で思いのほか悩みました。

一つ一つのカットした革をどのようにまとめて作品にするか頭の中では出来上がっていても思うようにそれをあらわすことができませぬ。クロッキーで描いた裸婦を傍らに置き何度か形を変えては、革をおいていききました。

さまざまな形や角度で試しましたがなかなか納得できず、カットした革を置くだけではなく革と革の間にあんだように染めた革も入れてみました。これでいいのか、くり返し自問した作品でしたので賞は本当にうれしく思いました。

芳賀先生の講評のなかに素直でなければ伸びないとお言葉がありました。これからも素直で謙虚な姿勢で取り組んでいきたいと思っております。



新日美大賞

福間 基(島根) 「黄瀬戸釉線光壺」(陶芸)

受賞にあたって

見る楽しみから、いつしか作る楽しみに変わり、それも黄瀬戸が好きで始めました。黄色に、胆礬の緑色が好きで、色々チャレンジしてきました。地元には黄色の布志名焼もあり手がけてきましたが、やはり黄瀬戸の黄色に胆礬の緑に魅せられ手掛けてきました。今回の壺の作品もやはり黄瀬戸釉を使い線を入れ緑で仕上げました。それが認められ大変嬉しく思いました。

今、壁にぶつかっています。自分なりの、自分独自の作品にしたいのですがどうしたら良いでしょうか。諸先生方のお知恵を拝借したいと思っております。

元来ヨリ性で、とことんやり遂げないと気が済まない性格ですが、年齢には勝てません。今後とも頑張りたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。



中尾賞

豊田 紋子(千葉) 「Appassionata」(友禅染め)

この度は、大変名誉ある中尾賞をいただき恐縮しております。

私が今回出品した作品は、映画の「ひまわり」から着想を得ました。ソフィア・ローレンとマルチェロ・マストロヤンニ主演の映画で、エンディングのひまわり畑から想像を膨らませて、作品制作をしました。

作品の技法は、手描き友禅という着物に染色する技法で、絹布に染色したものを木製パネルに貼ったものです。私は、学生時代に和裁や、手描き友禅を学んでおり、卒業後に現在勤めている、染料・材料メーカーの誠和という会社に所属しております。会社では染色



新人賞

Manjiree Nikam (USA) 「Culture Fusion」(陶芸)

や、レザークラフトの教室を開催しており、その中のレザークラフト教室の先生である、新日美工芸部の山崎昌子先生から、ご紹介頂き、昨年から出品しております。仕事の合間の制作なのですが、制作している時は楽しくてしかたありません！未熟な作品ですが、これからも宜しくお願いします。

First of all, I want to thank 'Shin Nichi Bi' committee members for their many efforts in putting together its exhibition every year so the member artists can display their art for community's enjoyment. Second, I am very thankful to the association for choosing my ceramic pot, aptly named "Culture Fusion", for its 2015 annual exhibition at the Tokyo Metropolitan Art Museum, and for giving it the '新人賞'. I felt ecstatic to hear the unbelievable news of my piece getting recognition and the award. I am new to pottery (<2 years) and worked very hard for many weeks to plan, sketch the original designs, do the carvings, and complete this pot. I called it "Culture Fusion" because the shape of the pot has Chinese/Korean influence, it is made by an Indian American (that's me :)), and it has carvings of Japanese scenes, as well as 7 symbols of Buddhism and 3 auspicious Hindu symbols. All these designs took much thinking, research, and planning but my originality, creativity, and hard work was recognized by Shin Nichi Bi's judges and I want to thank them for rewarding my work with the prize. I also want to thank many members who complimented me at the award ceremony, and I appreciate that they and many other exhibition visitors enjoyed my art. The prize has given me even more aspiration to produce good art. Finally, I am very grateful and happy for the award. Thank you all again.